

電動断裁機 F-430・F-310 取扱説明書…(ご使用前に必ずお読みください)

警告:使用方法を誤って使用されますと重傷などを負う可能性がございますので十分注意ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから必ずお守りください。

警告 この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性があります。

① 刃の下には絶対に手を入れないでください。また、断裁作業は必ず一人で行ってください。けがのおそれがあります。

② 安全カバーを絶対に取り外さないでください。また、刃の交換は取扱説明書の手順にしたがって行ってください。また、カバーを外して使用したり、分解したり、改造をしたりしないでください。けがや感電のおそれがあります。

③ お子さまの手の届かないところに設置してください。また、ぐらついたりする不安定な場所には設置しないでください。また、設置、移動の際には本体底部を持って、必ず二人以上で行ってください。刃の開口部には絶対に手をかけないでください。けがのおそれがあります。

④ 電源は10A以上で表示された電圧以上では使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。また、電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。火災や感電のおそれがあります。危険防止の為必ずアース線を接続してください。濡れた手で電源プラグ等の抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

⑤ 発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなど異常事態のときは、まず本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理にお出しく下さい。⑥ 異物(金属片・液体等)が機器の内部に入った場合に関しましては、本体の電源スイッチを切ってプラグをコンセントから抜き、修理にお出しく下さい。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。

注意 この注意事項を守らなければ、障害を負うか又は物的損害が生じる可能性があります。

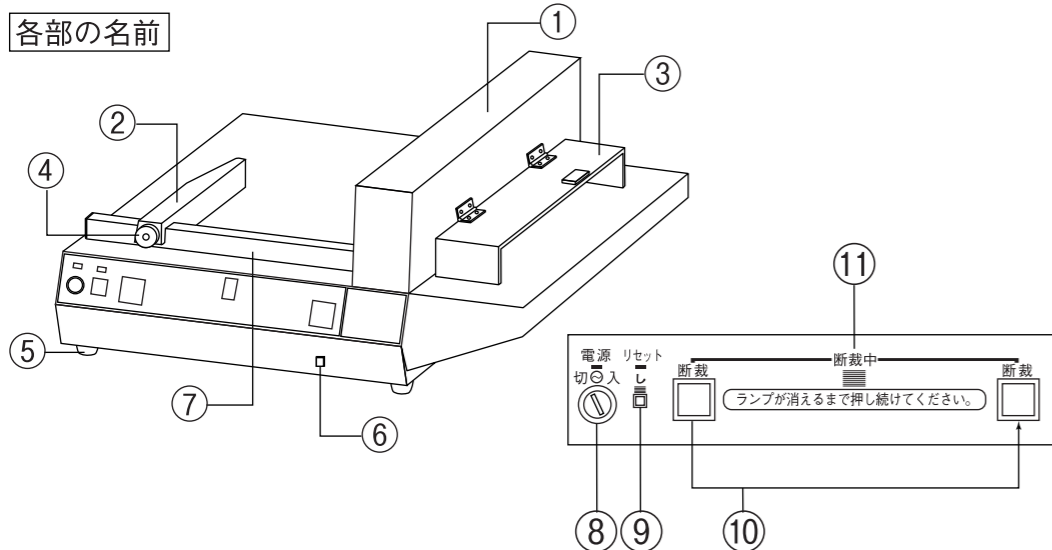
⑦ 用紙以外のもの、あるいはステープラ針等の異物が入った状態で使用しないでください。また、必ずPPC用紙(64g/㎡)250枚以下でご使用ください。無理をされますと、故障やけがの原因となる事があります。

⑧ テーブルの上に、裁断する紙以外のものは置かないでください。けがの原因となる事があります。

⑨ 湿度の高い場所やホコリの多い場所でのご使用は避けてください。故障やけがの原因となる事があります。⑩ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、必ずプラグを持って抜いてください。

⑪ 長時間、本機械をご使用にならない時は、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いておいてください。

各部の名前



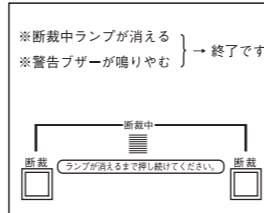
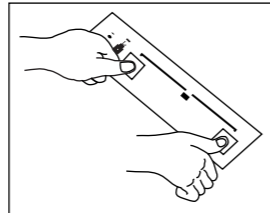
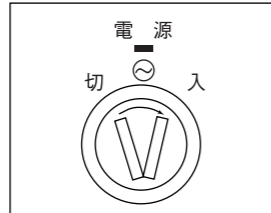
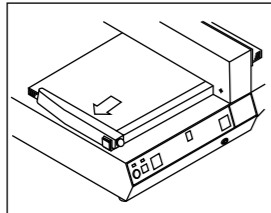
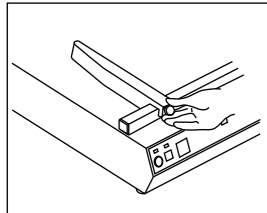
1	カバー
2	紙あて定規
3	安全カバー
4	紙あて定規止めネジ
5	ゴム足
6	安全ブレーカー
7	ガイド板
8	キースイッチ
9	リセットスイッチ
10	断裁スイッチ
11	断裁中ランプ

〈付属品〉

①②差し替え式ドライバー…1本
L型レンチ……………2本
工具袋……………1枚

使用方法

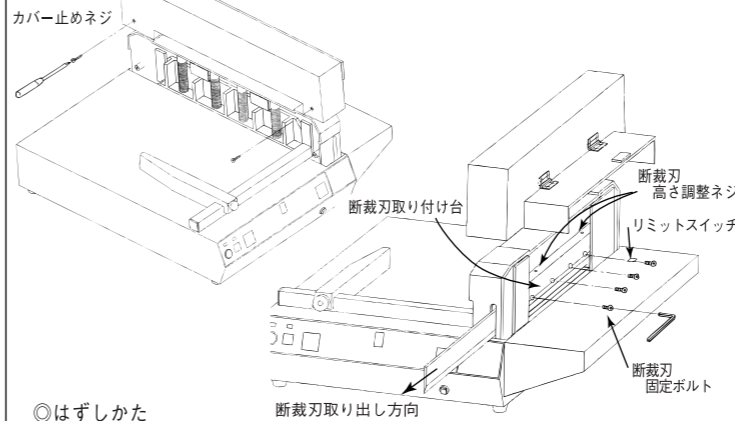
(1~5の順序でお使いください)



- 紙当て定規止めネジがゆるんでいる事を確認後、紙当て定規を移動させ、正しい断裁寸法(ガイド板の目盛)に合わせます。合わせたら紙当て定規止めネジで固定してください。※断裁寸法表示は断裁刃の刃部からの実寸です。
- 断裁する用紙を台に置き、紙当て定規に正確にセットします。(ガイド板には当てないでください)
- 電源スイッチにキーを差込み「入」まで回しますと、電源ランプ「緑色」が点灯します。この時、光によるカットライン(赤色)が用紙の上に表示されていますので、断裁位置が正しいか確認してください。確認終了後、安全カバーを閉じてください。
- 左・右の断裁スイッチを両手で押しつけてください。断裁が行われます。※断裁中は「断裁ランプ」の点灯及び「チャイム音」にて警告します。
※断裁中に片手または両手を断裁スイッチから離したり、安全カバーを開けると、安全の為、断裁刃は瞬時にストップしますが、再び断裁スイッチを両手で押すと断裁します。
- 断裁中ランプが消えて警告チャイムが鳴り終わりましたら断裁は完了です。カバーを開けて、用紙を取り出してください。
- 断裁作業を終えた後は、必ず電源スイッチを「切」まで回しておいてください。
※リセットスイッチについて……断裁刃が下降中に断裁スイッチから手をはなし、リセットスイッチを押して、再び断裁スイッチを押しますと断裁刃は上昇し現位置にて停止します。上昇中にリセットしますと断裁刃は下降します。

断裁刃の交換方法

注意 刃物ですので、取り扱いには十分注意してください。



◎はずしかた

- カバーの止めネジ2ヶ所をとり、カバーを上へ持ち上げます。
- リミットスイッチを文鎮等で下に押さえながら、電源を入れてください。次に断裁スイッチを両手で押し、断裁刃の刃先が受木に1~2mmの位置にくるまで作動させ、電源を切ってください。
- 断裁刃固定ボルト4本を外します、刃先は受木に落ちます。(F-310は3本)
- 断裁刃をスライドさせて、断裁刃取り出し口より引き抜きます。

◎取り付けかた

- 断裁刃を挿入する前に、必ず受木の面を替えるか、新しい受木と交換してください。
- 電源を入れて断裁スイッチを両手で押し、断裁刃とり付け台を最下端まで下げ、断裁刃高さ調整ネジをゆるめます。ゆるめ終わったら、電源を切ってください。
- 断裁刃を断裁刃取り付け台の穴に合わせ、断裁刃固定ボルト(4本)を軽く締めます。(F-310は3本)
- 断裁刃高さ調整ネジを交互に締めて、断裁刃の刃先と受木が平行になるよう調整します。調整量は、1回につき1/4~1/2回転位にしてください。
- 薄い紙を1枚断裁して、断裁刃の刃先と受木の平行を確認し、切れ残った側の断裁刃高さ調整ネジを締めて刃先を調整してください。正しく平行がとれましたら断裁刃固定ボルト(4本)をしっかり締めてください。(F-310は3本)
- カバーを取りつけてください。

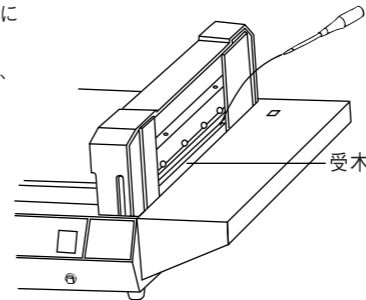
※断裁刃の交換作業は必ず1人で行って下さい。刃先には十分注意してください。
※断裁刃の交換作業中は、こまめに電源を切りながら作業してください。

受木の交換方法

注意 交換の際は、刃先に触れないよう十分注意してください。

受木の溝が深くなりますと、断裁能力が低下します。早めにとり替えてください。

- 受木の端に、マイナスドライバー等の先端をこじ入れて、受木を押し上げるように外します。
- 受木の新しい面を上にして溝に落とし込みます。
※受木が使えなくなった場合は、品番にあった受木を別途お買い求めください。



電動断裁機仕様

形式	F-310	F-430
最大断裁厚さ	22mm(PPC用紙約230枚)	
最大断裁幅	310mm(A4判長辺)	430mm(A3判長辺)
最小断裁長さ	50mm	
断裁時間	約5秒(60Hz時)	
外形寸法mm	W581×D520×H257	W581×D640×H257
重量	35kg	40.5kg
電源	100V	
消費電力	175/225w・50/60Hz	

断裁刃の研磨について

いつも良い状態で、より良くお使いいただくために摩耗した刃は研磨(有料)をおすすめいたします。お買い上げいただいた販売店へお申し付けください。ただし、研磨できる回数には限りがあります。

再研磨する期間中にもご使用いただくために、もう一本替刃をご購入いただくことをおすすめします。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記内容にそって確認してください。
◎電源スイッチを「入」にしても操作盤の電源ランプが点灯しない
① 電源コードのプラグはコンセントに差し込んでありますか。
② 操作盤下部にあるブレーカーがOFFになっていませんか。OFFの場合はONにしてください。

◎断裁面に斜めのスジが入る
① 断裁刃の刃先の一部分が欠けていませんか。(ただちに刃物の交換をしてください)
※機械内部には、精密部品などが組み込まれています。絶対に分解などしないでください。
※その他の異常が発生した場合は、電気回路、機械内部に異常があると思われるのでお買い求めの販売店にご連絡ください。

◎断裁中に刃物が紙に食い込んで止まってしまった
① 安全ブレーカーがOFFになっている場合はONにもどしてください。
② リセットスイッチを押しオレンジ色のランプの点灯を確認し「断裁」スイッチを押して下さい。(止まった位置からカッターが上昇端までどります。)
③ 断裁刃が摩耗していますので再研磨するか新品と取り替えてください。
注)リセットスイッチは一度上昇端に戻ると自動的にキャンセルされます。

◎きれいに裁断できない・数枚切れないうで残ってしまう
① 受木の切りあとが深くなりますと、刃の切れがわるくなります。(受木の交換方法)に従って受木を交換してください。
② 断裁刃が欠けているか、摩耗していませんか。研磨もしくは交換をしてください。
③ 〈断裁刃の変換方法 取り付けかた4~5〉に従って調整してください。

◎用紙のどちらか一方が裁断できない
① 断裁刃と受木が平行になっていますか。
〈断裁刃の交換方法取り付けかた4~5〉に従って調整してください。

お手入れ方法

- 本体の汚れがひどい場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう水拭きした後、から拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール類は使用しないでください。

その他

- ご使用で、本体に異常が生じた場合は、もう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、それでも故障と思われる場合は、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理させていただきます。
- この製品を譲渡、又は貸し出しされる場合は、この取扱説明書と一緒に渡してください。
- 修理、その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記の製造元までご連絡ください。

ARIYA

大島工業株式会社

〒448-0045 愛知県刈谷市新富町3丁目32番地
TEL:0566-21-3260 FAX:0566-23-3710
URL: <http://www.bi-k.com/>